

認める ～子どものありのままを認めたい！～

ねらい

- 子どもの長所や短所は、親の認識によって変わるものであることに気づく。
- 子ども一人一人の個性やあり様を認める。
- 「自分は親にまると受け入れてもらっている」、「自分は大切な存在なのだ」と子どもが感じるよう、「自尊感情」を育む大切さを考える。

概要

- 子どもの「いいところ」や「気になっているところ」を出し合い、お互いの子育てを認め合うと同時に、どのように子どもに伝えればよいのかを話し合う。
- 子どもの成長を見つめるために大切なことを話し合い、今後の自分の子育ての参考とする。
- 参加者の「気づき」等を出し合い、今日の学習を振り返る。

ポイント

【進め方の重点】

- 子どもの「気になっているところ」の話し合いでは、他人の意見を聴くことで、親が見方を変えれば、短所・欠点も長所になることに気づいてもらうよう促す。
 - 子どもへの伝え方が重要であり、話し合いにあたっては、「いいところ」、「気になっているところ」の両者の伝え方の違いと、その際の親、子どもの気持ちを考えてもらい、子どもをまると認める行動につなげる。
- 子どもの長所と短所を確認するために、「いいところ」、「気になっているところ」を3つずつ出し合う。
 - 「気になるところ」を「いいところ」としてとらえてみる話し合いは、否定的な意見ばかりにならないように促す。
 - グループ内での話し合いが終わったら、子どもを“認める”具体的な行動である、「いいところ」、「気になっているところ」の伝え方について考える。
 - その後、「子どもの成長をみつめるために大切なこと」について、グループで出し合う。「声をかける」、「褒める」、「スキンシップをとる」など、子どもの存在を認める行動が、「自尊感情」を高めることにつながることを確認する。

準備物

- 筆記用具

プログラム進行例

時間	展開	ポイント・留意点
5分	<p>支援者から挨拶と自己紹介</p> <p>今回のプログラムの趣旨説明</p> <p>3つの約束の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 和やかな明るい雰囲気になるように心掛ける。 ● ねらい・活動の流れ等について、ポイントを絞って説明する。 ● 3つの約束を守るよう周知する。
10分	<p>アイスブレイク</p> <p>アイスブレイク集から適宜選択して実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 和やかな雰囲気作りとともに、参加者の自己紹介をかねる。 ● 状況により省略してもよい。
<p>重点</p> <p>45分</p>	<p>子どもの「いいところ」「気になっているところ」の話し合い</p> <p>◎「自分の子どものいいところはどんなところですか、また、気になっているところはどんなところですか。3つずつ書き出しましょう。」</p> <p>◎「書いたことをグループ内で発表し合しましょう。」</p> <p>◎「子どもの『気になっているところ』を見方を変えることで、『いいところ』としてとらえてみましょう。」</p> <p>◎「グループ内で、どのようなとらえ方ができるのか話し合しましょう。」</p> <p>子どもへの伝え方についての話し合い</p> <p>◎「『いいところ』『気になっているところ』を、普段からどのように子どもに伝えていきますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いいところの伝え方？ ・ 気になっているところの伝え方？ ・ 両者の違いと、その時の親の気持ち、子どもの気持ちを考えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 些細なことでもよいので、できるだけ具体的に書いてもらう。 「いいところ」の例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 素直 ・ まじめ ・ 元気であいさつができる 「気になっているところ」の例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じことを繰り返し言っても聞かない ・ 友だちが少ない ・ おとなしい ● 見方を変えれば「気になっているところ」も「いいところ」に変わることを、さらに、子どもをまるごと認めてあげることの大切さを伝える。 ● 子どもをまるごと認めることがうまくできない場合は、気持ちや視点の切り替えが大切であることを踏まえておく。 ● 自分の子どもが認められるということは、子育てをしている親自身が認められることにもつながるということを感じてもらおう。
15分	<p>子どもの成長へのかかわりについての話し合い</p> <p>◎「子どもの成長を見つめるために、どのようなことが大切でしょうか。グループで話し合しましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 声をかけたり、褒めたり、励ましたり、スキンシップをとったりすることがその子の存在を認め、自尊感情を高めていくことにつながることに気づいてもらう。
15分	<p>活動の振り返り</p> <p>◎「それぞれのグループで、どのような話が出ましたか。グループごとに発表してもらいましょう。制限時間は3分ですので、まとめて話してください。」</p> <p>◎「ありがとうございました。今日は、自分のこと、お子さんのことで認めることの大事さを感じられたことと思います。</p> <p>親にまるごと認められた子どもが、人とかかわりあって、さらに心豊かに成長していけることは、親にとって大きな願いですね。</p> <p>また、お子さんにその思いを何らかの形で伝えることは大切ですね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの発表ごとに、グループからの補足や全体からの意見等を出し合う。